

第4学年 図画工作科学習指導案

展開場所 図画室

1 題材名 光のさしこむ絵をかこう(絵画)

～広げよう!自分だけの新たな光の世界～

2 題材について

- ① 身の回りにある光を通す素材に目を向けてみると、見える世界が変わる。普段何気なく見ていた景色が、カラフルに色付いていく。透過性のある材料の見せる、光を通した時のキラキラとした表情を味わうことをきっかけとし、光を通した時の材料の特徴や組み合わせ方で倍増する色や形の世界に気が付くだろう。本題材は、自分だけの色や形の世界を目で見て確かめながら、イメージを広げ、絵に表すという活動である。題材名は、児童が身の回りにある光を通す素材を集めることからスタートし、材料と関わっていく中で、光を通した時に見える自分だけの新たな世界を発見し、想像を膨らませ、それを楽しみながらつくり上げていく活動にしたいと考え、設定した。
- ② 学習指導要領では、第3学年及び第4学年の目標として、(1)「対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。」(2)「造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。」(3)「進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくり出す喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。」と、示されている。この目標を受けて、内容A表現(1)イ「絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。」とある。本題材はこれらの目標と内容を受けて設定したものである。
- ③ 本題材では、身近にある光を通す素材を用いる。指導にあたり、「透過性のある材料」と「実際に光を通してどう見えるか」について知っていることと、実際に光に通してみても気付くことの双方を行き来しながら、材料に関わったり、表したいイメージを深めていったりすることを大切にしたい。色セロハンのような光沢のあるものや和紙のような柔らかい雰囲気のあるお花紙を主として光を通す素材の基底材に貼っていき、絵に表すという活動は児童にとって初めての経験である。材料を実際に手に取って、目にそっと近付けたときや窓の外の光にかざしたとき、自分だけに新しい世界が見えた瞬間のドキドキを大切にしながら、想像を広げられるようにしたいと考える。

第1時では、光を通す素材への興味や関心を高めるため、材料コーナーを用意し、色セロハンやオーロラシート、お花紙などを並べたり、窓際で光に透かしてみたりしながら自由に材料と関わらせる。材料によって見え方が変わることを確かめたり、重ねたりする中で、絵の具の混色のように色を重ねられることや画用紙にかく絵とは異なる透ける感じへの気付きを促す。これらの材料を基底材に貼り絵に表す活動であることを伝え、活動の見通しをもたせる。基底材は、A3サイズの透過率の高いクリアなハードタイプのプラスチックのカードケースとする。基底材の候補としては、プラスチック段ボールや養生シート、ラッピングシートなどがあったが、教材研究の結果、児童が活動を行う際の扱いやすさを考慮すると硬度が必要であるという結論に至ったため、カードケースを選択した。カードケースは見開きタイプのものとし、素材を貼りつけた後、挟むことができるようにする。そうすることで接着した素材が剥がれてしまうのを防ぐことができるため、児童が活動をし易くなる。透過率の高い基底材と、色セロハンやオーロラシート、お花紙などの素材を合わせながら自分の好き

な色の感じを選ぶことで自分だけの世界をより想像し易くする。

第2時(本時)～第4時では、実際に基底材に、素材を貼り合わせていく。材料と光を生かしながら、イメージを広げられるように支援をする。自分だけの世界を表すために、色と形の組み合わせを考え試しながら、絵に表していく。活動の途中で鑑賞を行い、自分の作品の新たな発想や構想の手掛かりとなるようにする。自分の表したいイメージを基に、光を通した素材の組み合わせ方や、基底材への並べ方、色の重なりを意識した貼り方などを工夫し、作品を仕上げる。

第5時では、完成した作品を窓に飾り、光の通った作品を見合い、互いの発想や工夫の面白さや楽しさを味わう。

3 題材の評価規準

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
<p>○光を通す材料を組み合わせてながら表すときの感覚や行為を通して、形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどが分かっている。</p> <p>○透明なシートやプラスチック段ボールなどを適切に扱うとともに、色セロハン、お花紙などの材料、接着剤についての経験を生かし、手や全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて工夫している。</p>	<p>○形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、光を通す材料を組み合わせることで感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。</p> <p>○形の感じ、色の感じ、それらの組み合わせによる感じ、色の明るさなどを基に、自分のイメージをもちながら、光を通す材料や自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p>○つくりだす喜びを味わい、光を通す材料を組み合わせることで思い付いたことを絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。</p>

4 指導と評価の計画(5時間扱い)

時間	ねらい・学習活動	評価の観点、評価の方法等				備考	
		知	技	思	態		
		知識	技能	発想や構想	鑑賞		
I	<p>○光を通す材料に興味をもち、進んで光を通す素材と関わる。</p> <p>○光を通した時の素材の見え方を確かめたり、様々な素材の組み合わせ方を試したりする。</p>	○				◎ 観察	I 時間目は「主体的に学習に取り組む態度」に重点を置き、児童の学習状況を把握し、指導に生かす。

2 (本時)	<p>○色セロハンやお花紙などの光を通す素材を、はさみや手で切って形をつくる。</p> <p>○つくった形の感じ、色の感じや材料を組み合わせせて感じたことから想像し、自分の表したいイメージを見付ける。</p> <p>○自分の表したいイメージを基に、光を通す材料の見え方を試しながら基底材に貼っていく。</p> <p>○友達の作品のよいところを見つけ伝え合う活動を通して、自分の作品の新たな発想や構想の手掛かりとなるようにする。</p>	◎ 観察 作品	◎ 観察 作品	○		○	<p>2時間目は「知識・技能」に重点を置き、児童の学習状況を把握し、指導に生かす。</p> <p>基底材に貼るときに気を付けることや、色の重なりなど工夫するとよいことを例示しながら指導する。</p>
3	<p>○色セロハンやお花紙などの光を通す素材を、はさみや手で切って形をつくる。</p> <p>○つくった形の感じ、色の感じや材料を組み合わせせて感じたことから想像し、自分の表したいイメージを広げる。</p> <p>○自分の表したいイメージを基に光を通す材料を基底材に貼っていく。</p> <p>○友達の作品のよいところを見つけ伝え合う活動を通して、自分の作品の新たな発想や構想の手掛かりとなるようにする。</p>	◎ 観察 作品	◎ 観察 作品	○		○	<p>3時間目は「知識・技能」に重点を置き、児童の学習状況を把握し、指導に生かす。</p>
4	<p>○色セロハンやお花紙などの光を通す素材を、はさみや手で切って形をつくる。</p> <p>○自分の表したいイメージを基に、光を通した素材の組み合わせ方や、基底材への並び方、色の重なりを意識した貼り方などを工夫し、作品を仕上げる。</p>	○	○	◎ 観察 作品		○	<p>4時間目は「思考・判断・表現」の発想や構想に重点を置き、児童の学習状況を把握し、指導に生かす。</p>
5	<p>○友達と作品を鑑賞し合い、互いの発想や工夫の面白さを味わう。</p>				◎ ワーク シート	○	<p>5時間目は、「思考・判断・表現」の鑑賞に重点を置き、児童の学習状況を把握し、指</p>

						導に生かす。 さらに、「主体的に学習に取り組む態度」は、活動全体を通して把握し、最後に記録に残す。
--	--	--	--	--	--	--

5 材料と用具

材料	用具
クリアカードケース (A3) 基底材 色セロハン お花紙 オーロラシート のり	はさみ

6 本時の指導

(1) 目標

○表したいことに合わせて生まれる形や色の感じ、組み合わせの感じを工夫して表している。

(知識・技能)

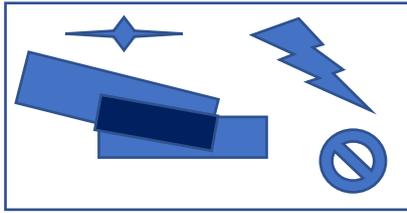
○光を通す素材の形や色、置き方などから表したいことを思い付き、工夫して絵に表している。

(思考・判断・表現)

(2) 展開 (2/5)

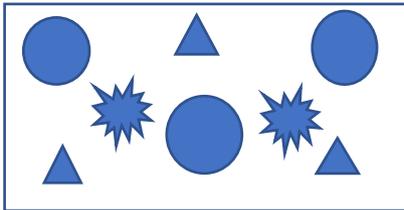
学習活動と内容(・)	教師の支援(○) 及び評価(◆)	資料 材料・用具
<p>1 光を通す素材の特徴を確認し、本時の内容をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光を通すと明るく見えるね。 ・赤と青の色セロハンを重ねると紫色に変わるね。 ・たくさん重ねると暗い色になるね。 ・お花紙は手でも破けるね。 	<p>○基底材に貼るときに気を付けることや工夫するとよいことを伝える。 (貼る向き、重なりなど)</p> <p>○のりで素材を基底材に貼るとき、外れないように塗ることを伝える。</p> <p>○作品例を見せながら、完成品は窓に飾ることを伝え、光を通したときの素材の見え方の違いに気付けるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品例 ・基底材 ・色セロハン ・お花紙 ・のり ・はさみ
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>光を通しながら、きれいな形や色をさがして組み合わせよう。</p> </div>		
<p>2 素材を切ったり、破いたりして、できた形を組み合わせたり、重ねて貼ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青色のセロハンで海を表してみよう。 ・海の深いところはセロハンをどんどん重ねてみようかな。 	<p>○できた形を組み合わせたり、重ねて貼ったりしてよいことを伝える。</p> <p>◆光を通す素材の形や色、置き方などから表したいことを思い付き、工夫して絵に表している。 (思考・判断・表現)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・端材コーナー用の色セロハン、お花紙

・青は冬のイメージがあるから、季節を表そうかな。



・色セロハンとお花紙は、光に通すと見え方が違うね。どっちが合うかな。

・似ている形を並べると模様になってきれいだな。



3 ミニ鑑賞会を行い、自分や友達の作品のよいところを伝え合う。

・丸い形が並んでいてお花が咲いているみたい。

・重ねて貼ったところが暗い色で宇宙みたいに見えたよ。

・いろいろな色を重ねているから、カラフルでとてもきれいだね。

◆表したいことに合わせて生まれる形や色の感じ、組み合わせの感じを工夫して表している。 (知識・技能)

○基底材に素材を貼り、光にかざし、見え方を確かめながら作業をするように声かけをする。

○「何に見えてくるかな」と声かけすることで、自分の表したいイメージを見つけられるようにする。

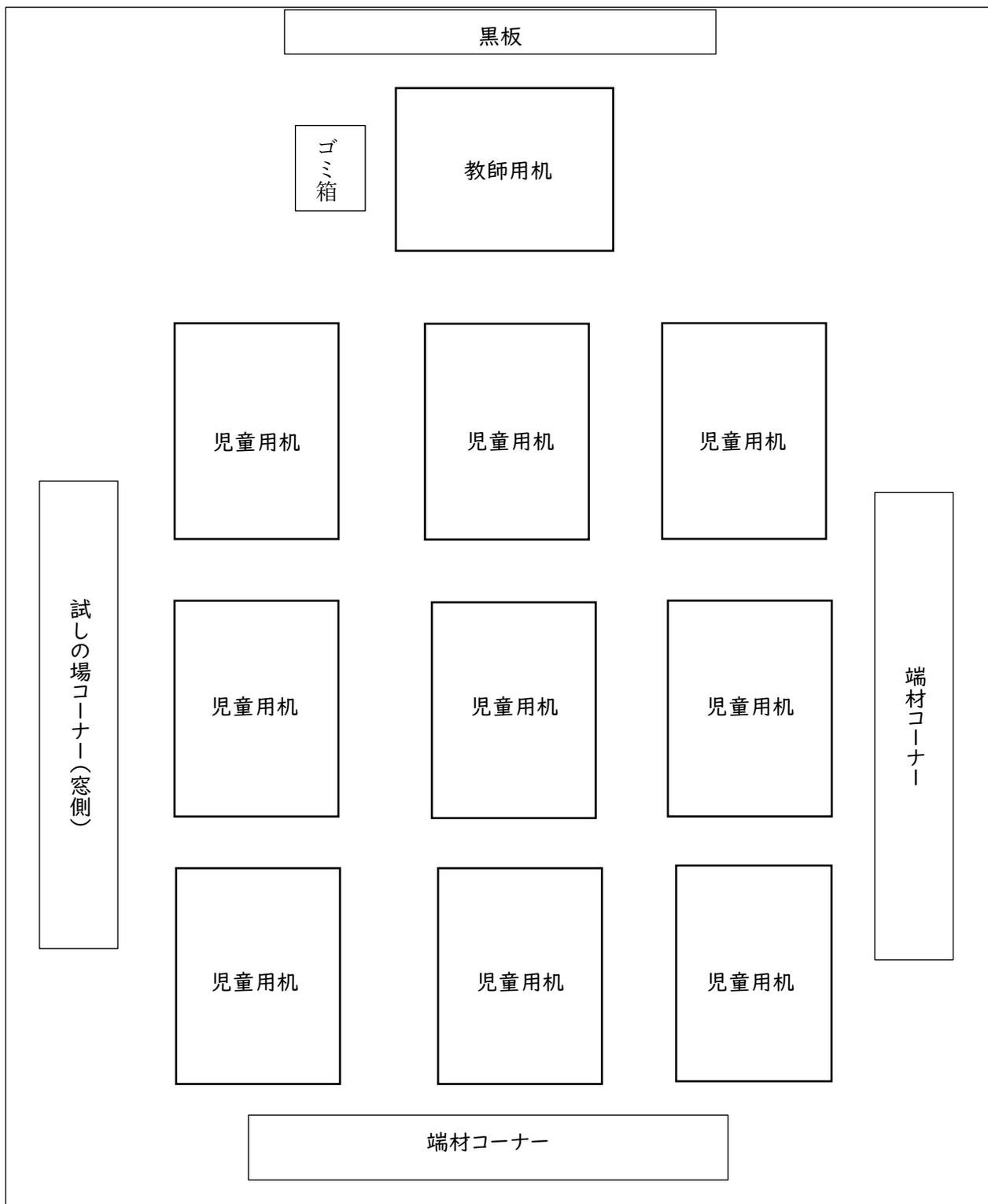
○端材コーナーに、色セロハンやお花紙などの素材を自由に取りっけるようにしておくことで、自分のイメージに合った材料を使えるようにする。

○色や形、イメージに基づいて友達の作品の良いところを見つけ伝え合う活動を通して、自分の作品の新たな発想や構想の手掛かりとなるようにする。

○4人1班の友達の作品を相互鑑賞し合い、よいところを見つけ互いに伝え合う活動を行う。その際、色のよさ、形のよさ、何に見えるかという3つの鑑賞の視点を伝える。

○班内での鑑賞が終わったらより多くの友達の作品を見て回るようにさせ、光を通す素材を生かした表現のよさを味わえるようにする。

【場の設定】



- 端材コーナーを設置し、使わない形を置き、誰でも自由に使えるようにし、自分でアイデアを出すことが苦手な児童も、友達が切り出した形から新たな発想や構想の手掛かりを見つけられるようにする。
- 試しの場コーナーを窓側に設置し、作品をいつでも太陽の光に透かし、鑑賞ができるようにする。
- それぞれの場所に行く際、自由に友達の作品を見て回れるようにする。

光のさしこむ絵をかこう

4年 組 番 名前

ふりかえり	◎○△
自分が「きれいだな」「おもしろいな」と感じる「色」と「形」を、重ねたり、組み合わせたりすることができた。	
自分だけの「光の世界」をイメージして、絵をつくることができた。	

☆できあがった自分だけの世界(作品)の名前をかきましょう。

～題名～

☆どうしてその題名にしたのかを、「色」や「形」からイメージしたことをもとにかきましょう。

☆友達の仕事のよいところを見つけてかきましょう

さんの作品
さんの作品